

## 事業の概要・課題

かつて本町には旧陸軍が東洋一の規模を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、歴史的役割を果たしながら大きく発展していきました。しかし、昭和20年3月の大空襲によって壊滅的な被害を受け、民間人を含む多くの尊い命が奪われました。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもあります。このような多くの尊い犠牲のうえに今日の平和と繁栄があることを深く感謝し語り継ぎ、平和のメッセージを発信し続けていく拠点として大刀洗平和記念館は建設されました。

この周辺には今もさまざまな戦跡が残っており、中でも高上地区にある掩体壕（※）は戦跡保存公園として整備する予定で平成28年10月に町が購入しましたが、年々老朽化が進んでいることから優先的に取り組む必要がある事業です。

※ 掩体壕とは装備や物資、人などを敵の攻撃から守るための施設で、今回整備予定のものは飛行機の格納庫でした。大刀洗飛行場や城山周辺にはいくつも造られましたが、現存しているのはこの掩体壕のみで、コンクリート製、高さが7 m30 c m、幅が44mもあります（右の写真）。



## 寄附金の使途 【目標金額 120,000千円】

右の完成予定図のように掩体壕を公園化整備し、フィールドワークや戦跡見学の拠点として活用します。



## 企業様のメリット

町ホームページへの掲載など、寄附金額に応じたベネフィットをご用意しております。また、本事業限定で、公園整備にあわせて作製する銘板に寄附企業様として表示させていただきます。

## 町長からのメッセージ

この掩体壕は、かつて東洋一の規模を誇った大刀洗飛行場がここにあったことを示す貴重な存在です。全国的にも稀有な戦跡ですので、未来へ残すべき貴重な遺産として皆様の御力をお貸しください。

筑前町長 田頭 喜久己

